

常設展示(第13回)

EX—LIBRIS

—蔵書票の世界(外国篇)—

平成3年6月27日(木)～7月23日(火)

西洋のエクスリブリスが、日本の文芸雑誌に初めて紹介されてから(参照リスト 1)、90年以上の歳月がたちました。そして、来年(1992年)は、世界書票会議が初めて日本(札幌)で開催される予定です。

今回は、交換・寄贈・購入等により収集した当館の洋書コレクションの中から、蔵書票の貼ってある本を選んでみました。

展示資料リスト

1. 明星 第7号(明治33年10月)

<雑8-28>

当時来日していたプラハ生まれの画家E.オルリックの作品。日本で紹介された最初のエクスリブリス

2. Typographical antiquities. J. Ames.

London : W. Miller, 1810.

<UE82-58>

イギリスの印刷業の歴史を綴った本に貼られた蔵書票。左はアメリカの印刷技術者 Theodore L. De Vinne のもの。中央に記された「AERE PERENNIVS」は「青銅よりも永久なる」とのラテン語の金言。右は Richard S. Wormser の蔵書票

3. Bibliomania, or book madness. T. F. Dibdin.

London : Longman, 1811.

<UM51-7>

G. P. Dvris (左)、A. Ashworth (右) の蔵書票

4. Recherches sur Jean Grolier. Le Roux de Lincy.

